

令和 4 (2022) 年度				年 間 授 業 計 画			
教科・科目			外国語 英語表現Ⅱ			2 単位	
対象学年・組			3 年生			必履修	
教科書 (出版社)			Vision Quest English Expression II Hope (啓林館)			Vision Quest参考書 高校リード問題集A Engage英文法・語法 Engage文法編 準拠問題集	
学習目標			英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに 事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら 伝える能力を伸ばす。				
学期		予定 時数	単元	指導内容		具体的な指導目標	
1	前半	12	Part 1 Lesson 5 ～6 第9章・第10章	助動詞 仮定の表現 名詞の修飾 受動態 関係詞 分詞		助動詞や仮定法を用いて、話し手の考えを表す英文を正しく作ることができる。 日本語に惑わされことなく、正しく受動態の文を書くことができる。 形容詞・関係詞等で名詞を適切に修飾し、正しい英文を作ることができる。	
	後半	12	Part 1 Lesson 7 ～8 第7章・第8章	副詞・副詞句・副詞節 前置詞 比較の表現 否定の表現 不定詞 動名詞		副詞等で語句や文全体を適切に修飾し、正しい英文を作ることができる。 前置詞等で名詞や動詞を適切に修飾し、正しい英文を作ることができる。 数量や程度などを比較する英文を正しく作ることができる。 否定を表す表現を正しく作ることができる。	
2	前半	14	第11章・第12章	関係代名詞 関係副詞 複合関係詞		関係詞の用法について理解し、説明を加えたり比較したりしながら、自らの考えを適切に表現し、相手に伝えることができる。	
	後半	14	第13章・第15章	接続詞 比較		接続詞や比較の用法を理解し、社会の現状や未来、問題点や解決方法について、自らの考えを適切に表現し、相手に伝えることができる。	
3		18	第16章	仮定法		仮定法と直説法の違いを理解して、複雑な英語表現を自由に表現できる力を身に付ける。	
評価の観点 (評価基準)			言語の運用に関する知識を身に付けるとともに、さまざまな場面において自らの考えを適切に表現することができる。				
評価の方法			定期考査及び平常点（課題提出状況、授業への取組、小テスト等）で総合的に評価する。				
学習の手引き			教科書の予習・復習、演習問題の取り組み、エッセイライティング、プレゼンテーションへの取り組み				
授業担当者			岩本・植田・戸塚				